

研究課題名	あいりん地区における C 型肝炎ウイルス治療の実情を把握するための診療記録の解析
研究の意義・目的	C 型肝炎ウイルス感染症は慢性肝疾患や肝がんを引き起こす病気です。大阪社会医療センター附属病院では、1990 年代から積極的にこのウイルスの診療を行なってきました。今回、当院でこれまで行ってきた C 型肝炎ウイルス治療の実態を後ろ向きに調査します。我々は、調査結果をもとに問題点を挙げて C 型肝炎ウイルス治療の成績をより良くし、慢性肝疾患や肝がんを抑えることを目的とします。
研究を行う期間	大阪社会医療センター附属病院の倫理委員会承認後～2027 年 3 月末まで
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2014 年以降、大阪社会医療センター附属病院へ C 型肝炎ウイルス感染症の経口治療のため受診された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記の情報を使用させていただきます。 既にある記録（カルテや検査結果）のみを使用し、研究のために検査や治療は追加されません。 診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、血液検査データ、CT 画像、超音波画像、治療内容、予後。
試料・情報の他機関への提供	当院と古くから連携している大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学と過去の診療情報を共有し研究を実施します。患者さんの氏名は暗号化し表に出ることはありません。血液などの生体試料を後に解析することはありません。
この研究を行っている共同研究機関	大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学
試料・情報を管理する責任者	研究機関 大阪社会医療センター附属病院 内科 研究代表者 川村 悦史
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪社会医療センター附属病院の倫理委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪社会医療センター附属病院 内科 (担当者氏名) 川村 悦史 電話番号：(06) 6649-0321